

# 市議会だより

# おおだ

No.50

2018(平成30)年1月18日発行



山崎銀川先生による大田スポーツ少年団(野球)書道教室

## 12月定例会 12月4日~18日

- 榊野新市長による初の補正予算 …P2
- 市長所信表明! 目指す共創のまちづくり  
を中心に10人が市政を問う ……………P6
- 常任委員会が他市に学ぶ  
~行政視察報告 ……………P13

編集・発行  
大田市議会

F094-0064 島根県大田市大田町大田口1111 TEL 0854-82-1600 FAX 0854-82-9927  
http://www.city.ohda.lg.jp/ E-mail: o-gikajimu@iwamigin.jp

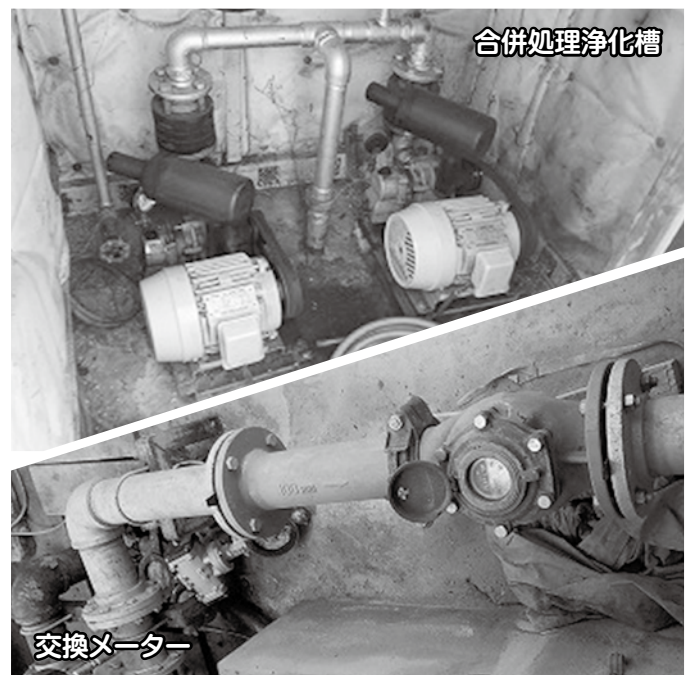
12月定例議会は一般会計、特別会計の平成29年度補正予算のほか、条例の制定、一部改正、一般案件を慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



# 産業振興施策に重点配分

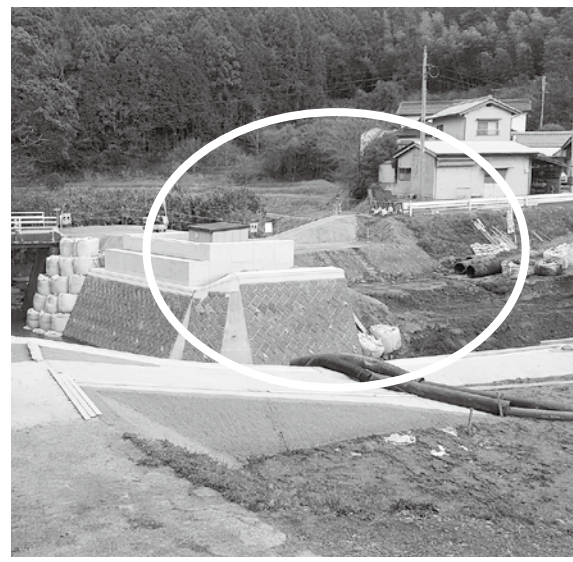


大田市長  
梶野 弘和



## 大田市観光施設改修事業 389万円

国民宿舎さんべ荘 合併処理浄化槽修繕工事 203万円  
三瓶温泉泉源施設 メーター交換外工事 186万円



## 過疎対策道路整備事業 700万円

静間大屋線橋梁下部工に係る土質改良

### 指定管理議案一覧表

施設の名 称	指定管理者となる団体の名称	指定する期間
鞆 館	鞆の銀蔵株式会社	平成30年4月 1日から 平成33年3月31日まで
仁万コミュニティセンター	仁万コミュニティセンター運営協議会	
小 浜 会 館	小浜会館運営協議会	平成30年4月 1日から 平成35年3月31日まで

### みなさんからの請願

【 継続審査 】  
年金の毎月支給を求める意見書採択方について  
(請願者) 全日本年金者組合 島根県本部大田支部 支部長 福田隆昌

# 12月 定例市議会

平成29年12月4日(月)～12月18日(月)

平成29年度補正予算案など  
原案どおり可決

## 楫野新市長による初の補正予算

### 主な補正内容

(旧姓併記等イメージ)



社会保障・税番号制度導入に伴う  
システム改修事業 **421万円**

マイナンバーカード等へ旧姓等の併記が可能になったことに伴う、住民基本台帳システムの改修



こぼと保育園

保育所特別事業 **660万円**

当初見込みに比べ、入所児童数が増加したことによるもの

その他の補正	補正額
地域生活支援事業 (平成30年4月施行の障害者総合支援法及び児童福祉法の制度改正等に伴い、障がい者福祉システムを改修する)	102万円
老人福祉推進事業 (仁摩老人福祉センターびしゃもん浴場のレジオネラ属菌対策のために、追加措置を講じる)	218万円
畜産競争力強化対策事業 (新たに「畜産酪農収益力強化整備」等特別対策事業に取り組むもの) 鶏舎改修 87.5m×13.0m×1棟 飼養羽数増 289,912羽⇒299,000羽	2,890万円
現年耕地災害復旧事業 (平成29年7月の梅雨前線豪雨、8月の豪雨及び9月の台風18号により被災した農地、農業用施設の早期復旧を図るもの)	2,196万円
大田市立図書館整備事業 (大田市中央図書館の空調室外機、仁摩図書館の床暖房ボイラー)	85万円

# 人事案件

17件とも同意

## 農業委員会

- 岩谷 洋司(朝山町)
- 漆谷 幸男(三瓶町)
- 戸島 長四郎(温泉津町)
- 武田 廣司(大代町)
- 田原 洋司(久手町)
- 森脇 公二郎(川合町)
- 戸嶋 総一(水上町)
- 竹下 正也(富山町)
- 三谷 薫(静間町)
- 大谷 成志(三瓶町)
- 山下 傳(大田町)
- 杉本 勝徳(久利町)
- 坂根 正(長久町)
- 奥 雅守(仁摩町)
- 落合 政頭(温泉津町)
- 古志 泰博(久手町)
- 福田 佳代子(大田町)

# 選挙

## 大田市選挙管理委員会委員及び同補充員

- 委員
  - 品川 昭治(大田町)
  - 白枝 利子(仁摩町)
  - 石賀 了(大田町)
  - 岸田 節子(富山町)
- 補充員
  - 上野 明義(仁摩町)
  - 龍 文字(大森町)
  - 杉本 博文(温泉津町)
  - 田平 志津子(長久町)

# 全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に  
関し協議調整をおこないます

12月4日

- 平成29年度大田市中長期財政見直し
- 及び財政健全化
- 平成28年度教育委員会事務に関する点検・評価

▼小学校の授業風景



# 11月 臨時市議会

## 人事案件

6件とも同意、全会一致

- 教育委員会委員
  - 梶 伸光(温泉津町)
- 公平委員会委員
  - 河原 美紀子(温泉津町)
- 監査委員
  - 富田 正治(温泉津町)
- 固定資産評価審査委員会委員
  - 尾川 信治(仁摩町)
  - 柳井 宗生(温泉津町)
  - 田中 昭一(長久町)

### ◇ 11月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名等	議員名等	議決結果	賛成	反対	木村幸司	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	松葉昌修	河村賢治	林茂樹	大西修	月森和弘	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	内藤芳秀	
<b>■市長提出議案</b>																								
議案第386号 専決処分(平成29年度大田市一般会計補正予算(第3号))の承認について	原案承認	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第387号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第388号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第389号 監査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第390号～392号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数20名(現員19名)、うち議長(内藤芳秀)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

### ◇ 12月定例会提出議案等賛否一覧表

<b>■市長提出議案</b>																								
議案第393号 平成29年度大田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第394号 平成29年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第395号 平成29年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	18:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

◇ 12月定例会提出議案等賛否一覽

議案名等	議員名等	議決結果	賛成	反対等	木村幸司	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	松村信之	小林太	松葉昌修	河村賢治	林茂樹	大西修	月森和弘	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	内藤芳秀
<b>■市長提出議案</b>																							
議案第396号 平成29年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第397号 平成29年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第398号 平成29年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第399号 平成29年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第400号 平成29年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第401号 大田市総合計画策定条例制定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第402号 大田市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第403号 鞆館の指定管理者の指定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第404号 仁万コミュニティセンターの指定管理者の指定について	原案可決	17 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	—
議案第405号 小浜会館の指定管理者の指定について	原案可決	17 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第406号 平成29年度大田市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決	17 : 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第407号 平成29年度大田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第408号 平成29年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第409号 平成29年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第410号 平成29年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第411号 平成29年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第412号 平成29年度大田市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第413号 平成29年度大田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第414号 平成29年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第415号 大田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第416号 大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第417号 大田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第418号 農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意を求めることについて	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第419号～434号 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第435号 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意	15 : 2	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<b>■議員提出議案</b>																							
議案第436号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	18 : 0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<b>■請願・陳情</b>																							
陳情第13号 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書提出方について	不採択	5 : 13	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第7号 年金の毎月支給を求める意見書採択方について	継続審査	議会閉会中の継続審査（民生委員会付託）																					

※定数20名(現員19名)、うち議長(内藤芳秀)は採決に加わりません ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※除は除斥

# いっぱん質問

市政に対する一般質問は、12月7日、8日に行われ、10人の議員が執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。（内容は、ホームページ (<http://www.city.ohda.lg.jp/>) で閲覧できます。）



## 市長が目指す共創のまちづくりの 理念とイメージは

市民と市の職員が一緒になって  
明るく元気な大田をつくっていく



松村 信之 議員

垣根を越えて、共に新しい大田になるためのアイデアをつくり、それを一つずつ市民と行政が一緒になって具体化することである。

その実現のため、未来志向のアイデアを出し合える風土にして、私たちが地域に向かい、地域の声に耳を傾けていく。市の職員は、市民と共に走りながらサポートする役割を担い、市民には、市の職員と共に大田ならではの魅力や市民サービスを生み出し、新しい大田をつくってもらえることを期待する。

### 質問

市長が目指す共創のまちづくりの理念と、そのイメージはどのようなものか伺う。  
みんなで一緒につくる「共創のまち」実現のため、どのような姿勢で臨まれ、どのような取り組みをされるのか。

また、その実現のために市役所はどのような役割を担い、一方、市民には何を期待されるのか。

### 答弁

共創のまちづくりの理念は、未来の大田のために市民と市の職員が信頼関係に基づいて、一緒になって明るく元気な新しい大田を心を込めてつくることである。イメージとしては、市民と行政の



# 大田市が抱える4つの課題について、市長の考え、方向性を問う

市民との対話を重視し、積極的に有効な課題解決を図っていく



胡摩田 弘孝 議員

あり、急性期医療、緊急医療にしっかりと対応すると共に、安心して子供を産み、育てられる医療環境の確保・維持をする必要があると考え、一日も早い建設と、医療スタッフの充実を図っていく。

② 大きなビジネスチャンスであり、産業振興、農林水産業や観光産業の活性化に繋げていく。また、運営に必要な適正規模となるよう検討していく。

③ まずは、出向いて周辺住民や関係者の方々との意見交換を行う中で、今後のまちづくりについて検討していく。

④ 建設スケジュールの厳守、運営なども含め、品智郡総合事務組合や地元自治会と連携し、主体的に事業を進めると共に、有利な財源確保や市全体のごみの減量化にも努力していきたい。

**答弁**

① 病院建設は、市民の安心な生活を医療面で支えることで

- ① 大田市立病院の建設と医師確保
- ② 道の駅設置
- ③ 大田市駅周辺のまちづくり
- ④ 大田市新可燃物処理

そこで、大田市が抱える4つの課題について、市長の考え、方向性を伺う。



▶新可燃物処理場建設が予定されている品智クリーンセンター(川本町)

# 核廃絶に取り組み、平和を守って欲しい

引き続き核兵器廃絶に向けた活動に協力していきたい



福田 佳代子 議員

識している。私が進める市政においても、平和を大切にしていく考えである。核兵器廃絶に関して、当市では、石見銀山遺跡とその文化的景観の世界遺産登録を契機に核兵器の廃絶と非核三原則の堅持を願い、平成19年12月に非核平和都市宣言をしている。また、平成22年7月には、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起するなど、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とした平和首長会議にも加盟している。引き続き核兵器廃絶に向けた活動に協力していきたいと考えている。

**質問**

憲法が施行されてから70年、戦後のありようを示した3つの柱である国民主権・基本的人権の尊重・平和主義は、今国民の中に深く根付いている。

新市長として、憲法改正の動きがある中、どう認識され、市政運営されようとしているか。非核平和都市宣言をし、平和首長会議に加盟している大田市として、核廃絶に取り組み、平和を守って欲しい。所見を伺う。

**答弁**

日本国憲法は、戦争放棄を理念を持ち、国際的にも平和憲法として世界各国から評価されていると認



# 地域の循環型経済の活性化を図る

## 「仁摩道の駅」へ

### 産業の連携により、地域内での利益循環を実現させることを目指す



大西 修 議員

より、地域内での利益循環を実現させることを目指していく。

②JAしまね及び生産者団体並びに島根県等と協議を進めており、生産者の掘り起こしや新規作物への誘導、生産量の拡大と確保に向け、検討を進めていく。また、鮮魚や干物といった地元の水産物の販売も計画しており、引き続き地元漁業関係団体と協議を進めていく。

③それぞれが独自の運営形態で事業を進めているが、レストランにおいては、JA直売所からも仕入れを行っている。仁摩道の駅においても、出荷協議会の出荷体制に加わることも、ロード銀山や温泉津ふれあい館と、どのような連携が図れるのか、各施設の管理者と協議していきたい。

### 質問

「仁摩道の駅は、経営面のごことをよく検討して欲しい。」何の目的でつくられたのか分かるような施設にしてみたい。「など、独自調査したアンケートにあった。次の点について伺う。

①地域の循環型経済の活性化を目的として明記するべき。

②地元の農林漁業者、加工業者など出荷体制の確立。

③現在あるロード銀山、温泉津ふれあい館などとの連携、充実。

### 答弁

①地域資源を活用し、新しい地域の魅力を創造できる産業振興機能を持たせることを掲げている。1次・2次・3次産業の連携に

▼ロード銀山



▲温泉津ふれあい館

# 一人ひとりを大切にしている行政実現のための手段と成果の検証方法は

## 職員一人ひとりが創意工夫し、地域活動に積極的に参加することを促していく



森山 明弘 議員

そのために、職場で定期的な話し合いや、活発な協議の場を持つなど、組織内の意思疎通を図ることが大切と考える。

施策の着実な推進には、職員一人ひとりが市民の幸せのため、それぞれの立場や職場で創意工夫しながら、全力を尽くすことが求められる。

そして、市民との信頼関係を築くため、まず、市の職員である前に、住民の一人として地域活動に積極的に参加することを強く求めている。

成果の検証方法は、人材育成や職員へのやる気と組織の活力向上を目的に、人事評価制度を導入している。

### 質問

市長は所信表明で、行政運営にあたっての考え方は、一人ひとりを大切にしている行政の実現であると述べられた。具体的な取り組みとして、職員が働きやすい職場づくりを進める。また、職員一人ひとりの企画力・営業力を養い、現場に向き、課題を共有し、解決に向かう職員の育成を進め、市民の皆さんに信頼される大田市役所を目指すことされた。具体的な手段と成果の検証方法について伺う。

①働きやすい職場とは、職員みんなが明るく元気であり、そして、組織内のコミュニケーションがとれる風通しのよい職場である。

### 答弁

働きやすい職場とは、職員みんなが明るく元気であり、そして、組織内のコミュニケーションがとれる風通しのよい職場である。



▶市役所職場風景



## 共創のまちの実現に向け 模擬議会の開催を

まずは自由に意見が言え、  
議論できる環境づくりから



森山 幸太 議員

議会は、持続可能な社会の担い手を育む教育の重要性から、女性議会は、女性参画を推進する上から、そして若者議会は、若い意見を伺い市政に参画してもらおう観点から、意義深く、有効な手法の一つと認識している。

今、大田市の雰囲気は、閉塞感があると感じており、まずは、気楽に自由に意見が言え、形式にこだわらない意見交換ができる機会を設けることを優先したいと考えている。そして、次の発展的段階として、模擬議会を具体化していきたい。

**質問** まちづくりは、行政と市民が一体となって進めるべきものである。それには、できるだけ幅広く市民の声を受け止める必要があると考えている。その手法として「子ども議会」「女性議会」「若者議会」の3つの模擬議会を実施し、共創のまち「おおだ」の実現に向け、未来志向で取り組むことを提案するが、所見を伺う。

**答弁** 共創のまちづくりには、まず信頼される市役所づくりと、徹底した情報公開による市政の見える化を行い、市民の皆さんが参画し、議論できる環境づくりが重要と考えている。そうした点からも、子ども

▼平成16年1月に開催された初めての女性模擬議会(旧大田市)



## 大田市地域交通の改善を

地域公共交通網形成計画で  
便数や運行の見直しを目指す



河村 賢治 議員

舎改修を実現したい。今後、民間資金を活用するなど財源確保策を模索していきたい。

②大田市地域公共交通網形成計画で便数や運行の見直しを掲げた。バスの小型化は費用面でも同程度のコストがかかる。老朽化で新たに購入する車両は、ノンステップバスに移行すると、右見交通から伺っている。

**質問** ①JRの利用客が減少している中、市長の大田市駅のバリアフリー化についての考えを伺う。

②路線バスの運行には、1億1千万円(8割は国の交付金の補助金)が交付されている。利用者減少の中、小型化や、方法見直しを求める市民の声に対し、市の考えを伺う。  
③タクシー空白地の高齢者のバス停までの移動など、住民輸送の研究と、指導について伺う。

**答弁** ①大田市駅は、誰もが安全で利用しやすい施設でなければならぬと思う。エレベーターの設置など、バリアフリー化を前提とした駅

③タクシー空白地の高齢者のバス停までの移動など、住民輸送の研究と、指導について伺う。



▶大田市駅のホームをつなぐ陸橋

# 全国植樹祭と国立公園 満喫プロジェクトの成果は

## 大田市内の資源を多くの人に知ってもらい、 観光、交流人口の拡大につなげたい



小林 太 議員

細が決まってくる中で、市が取り組むべき事柄や準備体制を当連絡会議で協議する。大田市の魅力を全国に発信する絶好の機会でもあり、歴史や文化、その中で育まれた雄大な自然、豊かな食などの魅力を積極的に全国に情報発信すると共に、参加された皆さんには心に残るおもてなしを実現し、観光、交流人口の拡大につなげたいと考えている。

ハード面では、県事業により西の原、東の原、北の原の公衆トイレが洋式化された。

**質問** 循環型林業をテーマとした、第71回全国植樹祭が三瓶山北の原で2020年に開催されること決定した。天皇皇后両陛下をはじめ、全国から多くのご来賓を迎えるにあたって、その準備体制、開催のメリットはどのように考えるか。国立公園満喫プロジェクトではハード、ソフト両面でのどのような施策、成果が期待できるのか伺う。

**答弁** 開催に向け、島根県において第71回全国植樹祭島根県実行委員会を設置され、開催理念や基本方針などを定めた基本構想が策定された。本市においては、庁内連絡会議を9月に設置し、式典や催しなどの詳

ソフト面では、三瓶地域の自然を活用し、楽しんでもらい、滞在を促すための体験プログラム、イベント等の効果的な情報発信の検討を行っている。



▲全国植樹祭が開催されることが決定した三瓶山北の原

# 大田市の中心市街地活性化を

## 常に人が集まり、活気にあふれる場所にしたい



石田 洋治 議員

間、旧駅前店舗の閉店は進み、大田駅周辺の衰退は厳しさを増している。駅前通りを含めた大田市駅周辺を常に人が集まり、活気にあふれる場所にしたいと考えている。そのためにも、事業者の皆さんを始め、関係者の皆さんのご意見を伺い、行政として必要な環境整備を図りつつ、民間の力を活用しながらにぎわいの創出を図っていきたく考えている。

**質問** 大田市の玄関口であるJR大田市駅周辺は、現在、東側開発が中断された状況にあり、旧バル倒産後、駅周辺は買い物困難な地域となっている。そのような中、駅通りを大正ロマン通りとして蘇らせたいと考える市民グループの動きもあり、官民一体となって検討すべきと考えるが、市長の市街地活性化について所見を伺う。

**答弁** 大田市の玄関口である大田駅前、まさに市の顔であり、大田市に対する印象を最初に与える場所である。厳しい財政状況から、大田市駅周辺まちづくり事業についてはやむなく事業を延期し、その



▲店舗の閉店が進み衰退が著しい大田市駅周辺

# 市長の所信表明と 新大田市総合計画との整合性を問う

## 新しい大田を実現するため、 新大田市総合計画を策定していく



清水 勝 議員

まで培ってきた人的なネットワークもすっかり市政運営の中で活用し、新しい大田を実現するため、さまざまな施策を立案したい。

高齢者の移動手段だけでなく、今一番何に困っているのか、どのような仕組みがあればそれが解決できるのか、10年後の地域はどうなっているのか、そのような状況をお互いに確認・共有しながら、これからのまちづくりは進めていかなければならないと思っている。

### 質問

楯野市長は、所信表明等で37年間の県政経験を活かし、元気で魅力的で、市民誰もが幸福感をもてる大田を目指すと言われていた。来年度策定される予定の新大田市総合計画との整合性を問う。

### 答弁

新総合計画策定にあたっては、これまでの総合計画をもとに、成果が出ている取り組み、課題のある取り組みなどを検証し、これ



▲議会で答弁をする楯野大田市長

## 行財政改革特別委員長 中間報告

### 4項目について事務事業評価を実施 来年度の施策に反映を



松村 信之 委員長

9月定例会で委員長報告を行った後、4回の委員会(第10回〜第13回)を開催。協議題はいずれも「事務事業評価」についてであり、その結果、指摘事項、提言は次のとおりである。

#### (1) 肉用牛振興対策事業

##### 継続

高齢化や後継者不足問題がある中で、しっかりと畜産農家を訪問するなどして意見を聞くべき。

#### (2) ① 地域医療確保対策事業

##### 継続

地域医療の①休日応急診療事業②次代の医療従事者の育成確保③24時間医療電話相談④普及啓発事業の取り組みについて、充実および確保をしっかりと進めよう。

#### (2) ② 総合医療学講座事業

##### 継続

目的である総合医育成のための教

育研究活動、市立病院の診療機能強化による地域医療の充実のためには、これまでなされてきている国県との連携を評価すべき。

#### (3) ① 大田市放課後子ども総合プログラム推進事業

##### 拡大の方向での見直し

すべての校区で実施できないか。

#### (3) ② 放課後児童健全育成事業

##### 継続

保護者の実情、地域のニーズ、国で進められている働き方改革などを考慮し、このまま継続すべき。

#### (4) ① 協働によるまちづくり推進事業

##### 拡大

市に頼らず自立できるように、プロジェクトの実情も考慮の上、自由に使える一括交付金制度を検討すべき。

#### (4) ② 地域おこし協力隊員等受け入れ事業(観光情報発信)

##### 継続

任期の3年が終了した後も、大田市に残っていただけのような市独自の制度を別メニューで考えるべき。



▲事務事業評価の様子

**地域活性化調査検討  
特別委員長 中間報告**

**各ブロックとも過疎化、  
少子高齢化による課題多数**



塩谷 裕志 委員長

9月定例会で委員長報告を行った後、3回の委員会(第6回〜第8回)を開催。また、「地域との意見交換会」を各ブロック7会場にて開催。意見交換会での主な課題は次のとおりである。

- ① 仁摩ブロック(10月6日) 周辺の中山間地では、集落維持、現組織体制の見直し、交通問題など。
- ② 三瓶ブロック(10月13日) 市内でいち早くまちづくり協議会を立ち上げられている。人材不足、集落維持、空き家対策、観光資源の活用、今後の地域活性化など。
- ③ 温泉津ブロック(10月16日) 各地域間の距離があり、連携に苦慮されている。特に周辺の中山間地では、鳥獣被害による農地の維持、買い物や通院の交通問題など。

④ 中央ブロック(10月16日) 中心市街地は、旧市街地を抱え空き家対策、自治会等の加入率の低下など。

周辺では、次代を担う人材育成、農地維持など。

⑤ 西部ブロック(10月18日)

周辺では、体制の維持や見直し、ビジョンづくり、雇用の創出での定住対策、防災対策など。

⑥ 高山ブロック(10月19日)

現取り組みの維持や、人材不足、市の対応など。

⑦ 東部ブロック(10月20日)

海岸部では組織の維持、空き家対策、雇用の確保による定住対策など。中山間地では定住対策、地域交通、地域の拠点づくりなど。

各地域よりお聴きしたご意見などは、整理し市の執行部、所管部署と協議、意見交換する。



▲地域との意見交換会(中央ブロック)

**大田市立病院医療体制検討  
特別委員長 中間報告**

**一日も早い病院建設を望む**



石田 洋治 委員長

12月8日、第15回委員会を開催。協議内容は、新大田市立病院建設事業の進捗状況等についてである。

① 実施設計の概要と建築概要と構造

② 契約見直し

○ 契約予定額 95億2560万円

○ 契約相手方 大成建設(株)中国支店・(株)はたの産業・(株)堀工務店・(有)井口建設・(有)藤井工務店・島根電工(株)・山陽空調工業(株)特別共同企業体

○ 工期予定 契約締結の翌日から平成33年2月末

③ スケジュール変更に伴う継続費年割額の変更  
ECI方式(※1)による実施設計協議に日数を要したため、実施設計が遅れ、継続費年割額を変更し、平成29年度の予算を減額するもの。変更後は、平成29年度7393万円、

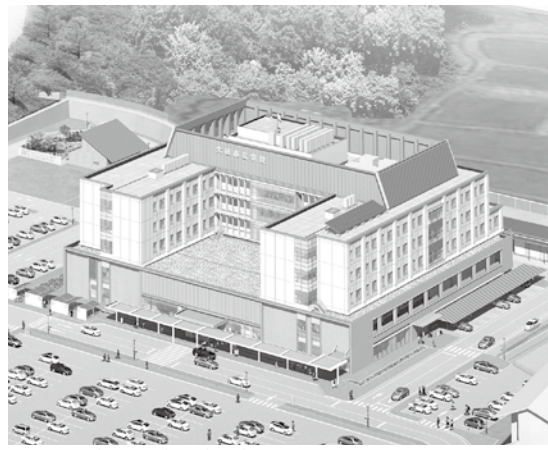
平成30年度17億8046万円、平成31年度68億7651万円、平成32年度9億5020万円となる。

④ 財源見直し

企業債90億7330万円、国県補助金4億987万円、繰入金1億9781万円、損益勘定留保資金13万円の合計96億8112万円。

⑤ 公共積算単価の上昇率

3.6%上昇。全体事業費見込み額は、予算ベースで124億円。病院経営も、病院が新しくなれば、様々な手法で収益を上げることが出来る。一日も早い病院建設を望んでいる。



▲新大田市立病院完成予想図

(※1)ECI方式：設計段階から設計者と協働して、施工業者の優れた技術と経験を取り入れる方式

# H29 行政視察報告

総務教育常任委員会



松村 信之  
委員長

【期間】 10月23日～25日

滋賀県草津市

【草津未来研究所の取り組み】

草津未来研究所は、市役所内部の組織でありながら、大学のある都市としての優位性を活かし、大学、学生、市民、地域、NPO、中間支援団体、企業、行政との関係構築を図りながら、地域の実践的な課題解決に取り組んでいる。

また、中長期的・戦略的な視点を持ち、地域と自治体の役割を見通した政策研究と提言をされていた。

独自の視点に立った調査研究を進めることが重要であるとの思いから、調査やデータが重複したり、調査結果が似たようなものにならないよう整理されていた。

その中で大きな特色は、地域経済の仕組みをつかみ、従来の雇用確保・

自主財源の確保・地域文化・風土創出などの観点に加えて、地域経済が好循環する方向で産業政策を模索し、将来に有効でより効果的な事業提案や市の方向性を研究会としてサポートされていた。

大田市においては、農林業施策に対し、島根農林大と連携を密にすれば新たな展開もあるのではないかと思う。



▲草津市役所

京都市「京丹後市」

【上限200円に運賃設定したバスの運行】

人口減少や高齢化に伴い路線バスの利用者が減少しているため、行政と民間の交通会社、市民が一つになり路線バスの再生を図っていた。

設立にあたっては、まず、「同じ補助をするなら、乗っていただけバスに補助しよう」という発想から、使いやすい公共交通ネットワークを実現するための広域的な連携組織である「実現会議」を立ち上げた。次に市長を会長にした「京丹後市地域交通会議」を設立された。

料金設定については、バスをより多く利用すると考えられる高校生や高齢者に対象を絞り、料金の選択肢を100円から400円までの間でアンケート調査を実施した。当初、バス会社の理解が得られず苦労したが、京都市も交えて幾度となく協議を繰り返して、アンケートの結果が高かった200円に決定された。

現在では、乗客数が当時の2倍になっている。



▶200円バスに乗車中

【自動車配車システムを活用した「ささえ合い交通」】

自動車配車システムを使って地域の皆さんが自家用車でお客さんを運ぶ、白タクシーのこと。料金は概ねタクシーの半額とされていた。運行主体は「NPO法人 気張るーふるさと丹後町」である。合併により中心市街地から最も遠い地域であることから、これまでのような「与えられた生活」ではなく、地域の住民自身が「みんなで創っていく生活をしていかなくはならない」との強い思いから事業展開をされていた。

この事業の課題として、道路運送法施行規則の関係から、利用者が対象区域外に出掛ける場合、復路では「ささえ合い交通」の利用ができないことであった。

また、何よりも重要なことは、このNPO法人の理事長のようになり、ダーがいて初めて開業できるものであると思つた。タクシー組合などと協議を持ち大田市でも一つの交通手段として検討してみたらどうかと思う。



▶京丹後市役所



福田 佳代子  
委員長

【期間】 10月25日～27日

大分県豊後高田市

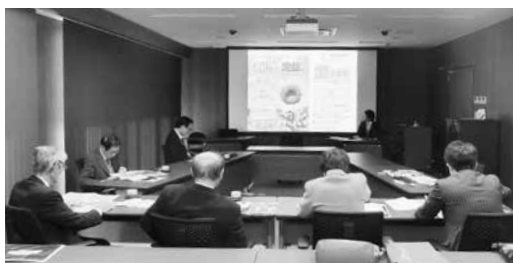
「定住促進における子ども子育て支援・シニア世代の対策を学ぶ」

平成27年度の国勢調査では、大分県内の過疎自治体の中で、人口減少率は一番低くなっている。将来のことを考えた時、市の活力は人である。この思いから人口の維持、人口の増加を重点施策と位置づけ、そこから本格的な施策が始まっている。市全体で定住促進に向けて、多様な施策を全国に先駆けて取り組んでいる。

定住ガイドブックには144項目の支援策が準備されている。一番初めに取り組んだのは、空き家バンク制度であり、毎年30軒以上の空き家を新規に登録し、利用登録者は20～40代の子育て世代が60%を占めている。定住促進住宅の販売、半住半旅お試し居住制度、農業体験、伝統文化行事に参加、就労先を探すなど定住のための準備がしっかりできている。

また、保育料は、第2子以降3歳未満は無料であり、子育てママ相談窓口を設置、祝日勤務の保護者のための休日保育、市営無料塾を開催（5歳児、小学生、中学生が対象）、学力は県内トップクラスである。

若い人からシニア世代まで、人を呼び込むためのきめ細やかな事業が展開されていて、人口増加を目指す市の本気度が感じられた。「住みたい田舎ベストランキング」で5年連続ベスト3」となったのが理解できる取り組みであった。



▲豊後高田市役所

佐賀県多久市

「生活習慣病重症化予防PHRモデル事業の現状」

PHRとは、パーソナル・ヘルス・レコードのことであり、生活習慣を改善し健康長寿を目指すものである。その中でも特に糖尿病に重点をおき、有用性を検証する。目的は重症化予防である。

方法としては、スマートフォンを使い、本人により体重、血圧、血糖のデ

ータを入力する。保険者で行う健康診断の結果や特定健診の結果、かかりつけ医の診察結果、調剤データやドラッグストアで購入する薬剤情報も収集される。一括管理されたデータを主治医や保健師が活用し、生活習慣の見直しをしたり、病気をコントロールしていく。医師・保険者・市民が同じ情報を共有することで疾病予防・重症化予防を図る。

このモデル事業は総務省の補助事業で、平成29年度・30年度で検証するものである。今後、この事業が広がっていくかどうかは、多久市の検証結果を待つことになる。



▲多久市役所

福岡県北九州市

「北九州市立八幡病院移転新築工事」

築30年が経過し施設の老朽化と手狭になったこと、耐震不足から建



▲建設中の新北九州市立八幡病院

て替えとなり、平成30年度の完成予定となっている。

建設にあたっては、「設計施工一括発注方式」を採用している。これまで分離して発注することが多かった実設計と施工を一括して発注することで、民間企業の技術を活用することができるとしている。

業者を決めるにあたっての評価ポイントは、技術部門が60点、価格部門が40点の配点方針となっていた。

災害拠点病院であり、免震構造にし、近くの活断層が動いた時も耐えられる構造で、耐震度は震度7弱である。

契約後、実施設計後にVE提案などの見直しはなく、基本設計の自身で予定価格を提示しており、その価格内でおさまっている。評価委員会のメンバーは、市役所内部の者は含まれていない。

## 産業建設常任委員会



小川 和也  
委員長

【期間】 10月23日～25日

### 宮城県気仙沼市

#### 「地域循環型エネルギー（木質バイオマス）の取り組み」

東日本大震災からの地域再生を契機に、エネルギーの分散や地域内で自給できるエネルギー体制の構築を目的に、「気仙沼市震災復興計画」を策定された。再生可能エネルギー導入を掲げ、地元の森林資源を活用、整備し、資源循環型発電事業がスタートした。

平成23年度総務省の「緑の分権改革」の資源供給等の調査事業を活用。発電に使用する間伐材の買取り価格（1トンあたり6千円）の半分を現金、半分を地域通貨「リネリア」で買い取ることにし、地域内で循環させることの説明だった。地域通貨は事務取扱規程で定め、市が発行し、また平成25年度からは間伐材の搬出諸経費の一部を助成する「気仙沼市間伐材搬出事業補助金」を創設。森林資源の有効活用を促進を図り、次世代につなげていくことになった。

大田市においても、森林資源の活用の取り組みはこれからであり、大いに参考になった。



▲気仙沼市役所玄関前

#### 「道の駅大谷海岸」の取り組み

主要幹線の海岸沿いに平成8年にオープン、平成23年3月の震災により全壊流失し、同年4月にトタン張りで仮復旧、平成25年4月にリニューアルオープンした道の駅である。

震災前のレジ通過者数は、飲食・売店・直売合計で23万人、売上1億8千万円。震災で大きく落ち込んだものの、毎月のイベントや、海鮮丼、フカヒレラーメンなどの人気商品の販売などで、昨年度には、14万人、1億2千万円と回復している。今後、移転の予定であるとの説明だった。

### 宮城県石巻市

#### 「道の駅上品の郷」の取り組み

三陸自動車道（無料）河北ICを降りた石巻市の郊外の国道沿いにある道の駅。平成17年3月に事業費14億3千万円で開駅、敷地1万5千㎡、木造平屋建て3600㎡、駐車場は大形車10台、普通車231台。駅舎は、情報コーナー・トイレ、農産物直売所とバイキングのレストラン、コンビニ、露天風呂を備えた温泉保養施設が併設されている。

観光客を主体にせず、地元のリピーターを増やす環境づくりが経営安定につながると力説された。

#### 「6次産業化」の取り組み

石巻市の基幹産業は、農業生産では、米、野菜、豆類、花卉などで82億3千万円。畜産業では鶏、肉用牛、乳用牛、豚などで44億8千万円。水産業では、国の特定三種漁港を有しており、水揚げ量9万5千トン、水揚げ高166億5千万円で、2000の魚種と牡蠣やホヤの養殖も行われている。

平成26年度に「6次産業化・地産地消推進センター（常勤2名、非常勤3名）」を設置し、地域資源の商品開発、販路開拓、人材育成、事業化支援など地場産業の振興策の取り組みについて説明を受けた。

今回の視察で、震災後のまちのあり方や考え方、前向きな姿勢に敬意を表するとともに、東北地方の一日も早い復興を心より願っている。

大田市

の1次産業、6次産業の活性化、道の駅整備計画に大いに参考になる行政視察であった。



▲道の駅「上品の郷」農産物直売所で、駅長より特産品について説明を聞く



▲石巻市役所

# えっ!!そんな一面が!! 第3弾!

# 産業建設委員の皆さんの意外な一面

3回目は、産業建設委員会です。皆さんの知られざる!? (ご存知の方もおられるかもしれませんが) 議員の一面をご紹介します。今回で最終回となりますが、少しは身近に感じていただけたでしょうか。(^▽^)

小川 和也 議員



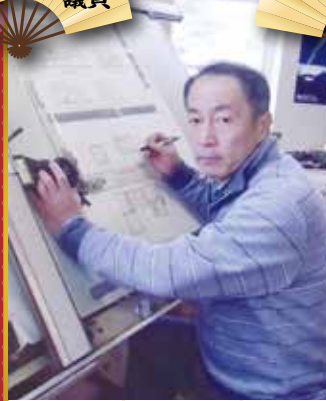
食べること、飲むことだけでなく、作ることも得意です。今日のランチは、リコッタチーズパスタです。

森山 明弘 議員



結婚35年目になりますが、誕生日だけは、毎年プレゼントしています。今年はハーバリウムとショートケーキでした♡

塩谷 裕志 議員



1級建築士の資格をもっていて、実は設計もできます。意外と知られていませんが、細かい作業が得意です。

木村 幸司 議員



娘が高校3年生の頃は、お弁当担当で、毎日かわいいキャラ弁をつくっていました。

大西 修 議員



帽子をかぶるのが趣味でコレクションをしています。気づけば10個になりました。服装に合わせコーディネートしています。

松葉 昌修 議員



愛犬「ポチ」

捨て犬を飼って20年。見つめられるとつい我が家へ。(笑)「ポチ」で3匹目です。動物愛護家です。

小林 太 議員



体落としのかまえ

中学、高校と6年間、部活で柔道をしていました。講道館4段で、得意技は左体落としです。

## 議会傍聴のご案内

次の定例会は  
**3月**の予定です。  
市議会を身近に感じる  
良い機会です。  
お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

## 視察受け入れ

視察日	議会名	人数	視察項目
11月 1日	静岡県裾野市	5名	山村留学事業及び山村留学センターの取り組み
11月14日	石川県志賀町	11名	石見銀山の施設及び市の取り組み
11月15日	新潟県	9名	世界遺産登録に向けた取り組み、登録後の課題等

- 広報広聴委員会**
- 委員長 木村 幸司  
副委員長 塩谷 裕志  
委員 大月 和弘  
委員 松村 信之  
委員 石田 洋治  
委員 森山 明弘  
委員 胡摩田 幸太  
委員 森山 幸太

**編集後記**

新年あけましておめでとつごうです。今年(戌)の干支は戌です。「戌」という字には、次の年(亥)に命の種と力を委ねるといふ由来があり、新しい命を育む縁起の良いものとされています。

昨年10月、榎野市長が就任され、「みんなと一緒に明るく元気な新しい共創のまち」をおたを創ろう」と連日奮闘されています。

われわれ議員も市民の声に耳を傾け挑戦する姿勢と、知恵や汗をかく努力を惜しんではいけないと思います。

尚、広報広聴委員会で、分かりやすく読んで頂けるような「市議会だより」の編集に邁進いたしますので、益々のご愛読をお願い申し上げます。

(胡摩田 弘孝)